

総合型地域スポーツクラブ研修

「市町・クラブ担当者研修会」兼「クラブ視察」

令和8年2月10日（火）14:00～14:50（50分）

# 【磐田市の部活動地域展開への取組】

## 「SPO☆CUL IWATA」の取組と今後の展開



磐田市教育委員会 放課後活動課  
部活動地域移行推進グループ  
土屋 悟

# 1 磐田市の中学校の部活動事情

【人口】 166,672人 (R7.12.1時点)

【世帯数】 71,452世帯 (R7.12.1時点)

【学校】 中学校10校 約4300人 (小学校22校)

【部活動数】 127部活 (運動部101 文化部26)



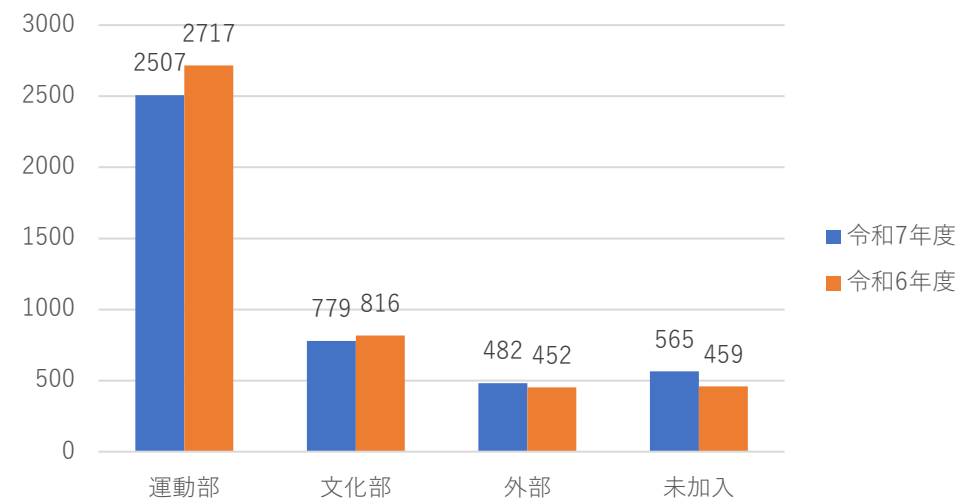
# 磐田市の中学校の部活動事情

## 令和7年度磐田市立中学校（10校）における部活動加入の状況について

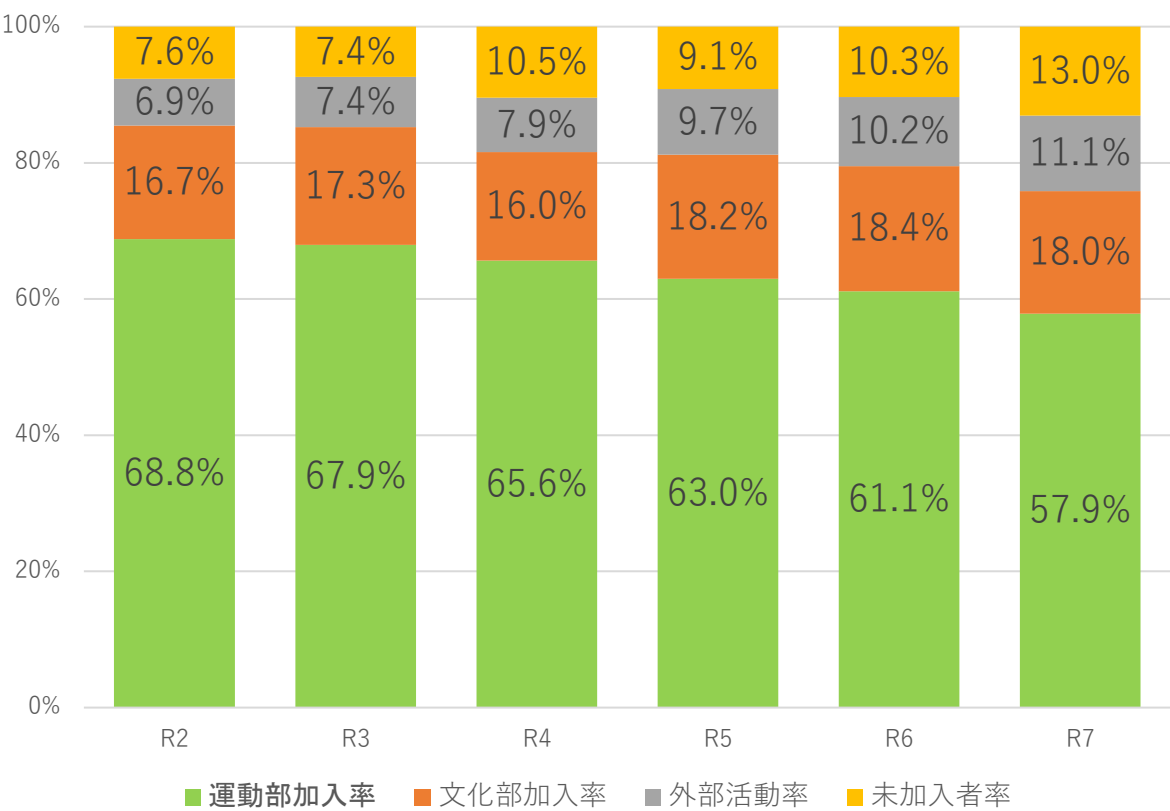
### 令和7年度 部活動状況の比較

種別／年度人数	令和7年度	令和6年度	差
在籍	4333	4444	-111
運動部	2507	2717	-210
文化部	779	816	-37
外部	482	452	30
未加入	565	459	106

部活動状況の比較（R 7 と R 6）

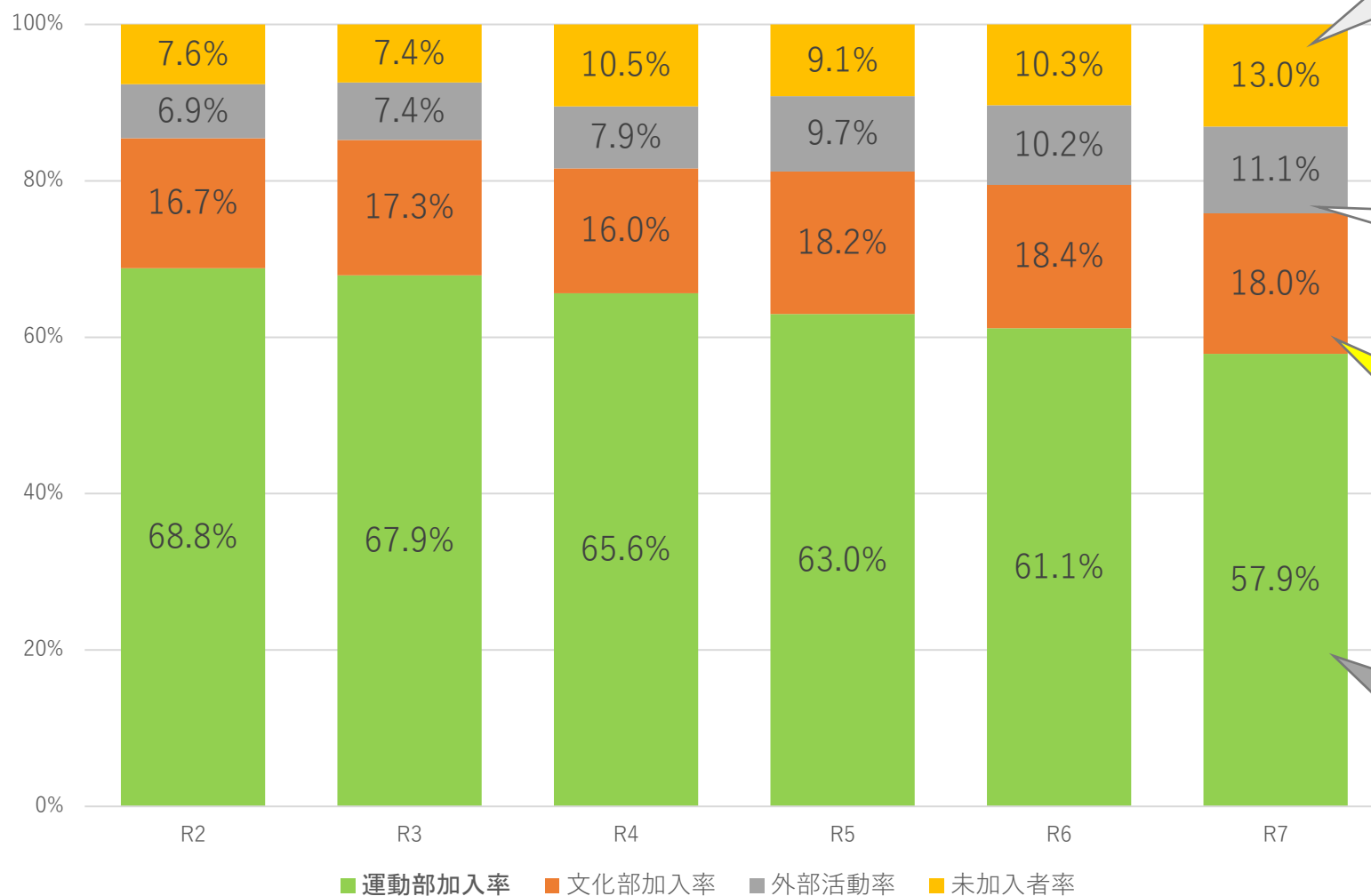


磐田市立中学校（10校） 部活加入率



# 磐田市の中学校の部活動事情

磐田市立中学校（10校） 部活加入率



未加入率は  
増加傾向

外部活動（民間の  
クラブ）加入率は  
増加傾向

文化部加入率は  
横ばい  
（やや増加）

運動部加入率は  
減少傾向

# 磐田市の中学校の部活動事情

## 令和7年度 磐田市立中学校における学校別部員数について

	部活動名	磐田一	城山	向陽	神明	南部	福田	竜洋	豊田	豊田南	豊岡	合計
運動部	野球	21	13	14	13	11	14	16	20	16	10	148
	サッカー	31	53	29	33	32	34	32	34	28	25	331
	陸上	31	51	25	34	35	11	47	23	11	4	272
	柔道	10	8			3						21
	剣道	14	19			9					15	57
	バレー男		35		21				19			75
	バレー女	28	35	16	25	22	17	24	26	28		221
	卓球男	34	19		33		19	22	16	13	27	183
	卓球女	35	14		36	33	6	20	26	20	25	215
	テニス男	34	42			31	31	19	20	44	21	242
	テニス女	32	48	26	19	27	21	23	22	31	28	277
	バスケット男	17	23	21	25	30	21	23	12	43		215
	バスケット女	31	26	14	30	26	20	24	10	26	12	219
	ソフト		6							8		14
	水泳	7	25					23				55
文化部	吹奏楽	38	58	36	16	34	25	26	22	39	41	335
	美術	42	61			30	33	35	39	26		266
	その他文化部		96		27	11		21		23		178

# 磐田市の中学校の部活動事情

## 令和7年度 磐田市立中学校における1、2年生の部員数について

	部活動名	磐一	城山	向陽	神明	南部	福田	竜洋	豊田	豊南	豊岡	合計
運動部	野球	14	11	12	11	10	6	10	15	5	5	99
	サッカー	22	33	20	19	20	24	21	21	17	20	217
	陸上	22	33	12	21	20	5	26	16	8	3	166
	柔道	4	5			2						11
	剣道	8	11			6					9	34
	バレー男		23		13				18			54
	バレー女	17	26	5	20	14	16	22	19	19		158
	卓球男	24	10		24		16	14	8	7	17	120
	卓球女	24	13		30	21	6	13	14	16	18	155
	テニス男	21	31			15	17	16	9	27	14	150
	テニス女	19	31	17	14	21	15	19	13	21	16	186
	バスケット男	10	20	15	16	21	20	15	3	29		149
	バスケット女	19	21	4	15	19	13	14	0	17	6	128
	ソフト		5							4		9
文化部	水泳	3	19					15				37
	吹奏楽	27	38	29	13	20	16	21	16	26	23	229
	美術	35	44			13	17	23	26	17		175
	その他		70		16	11		8		10		115

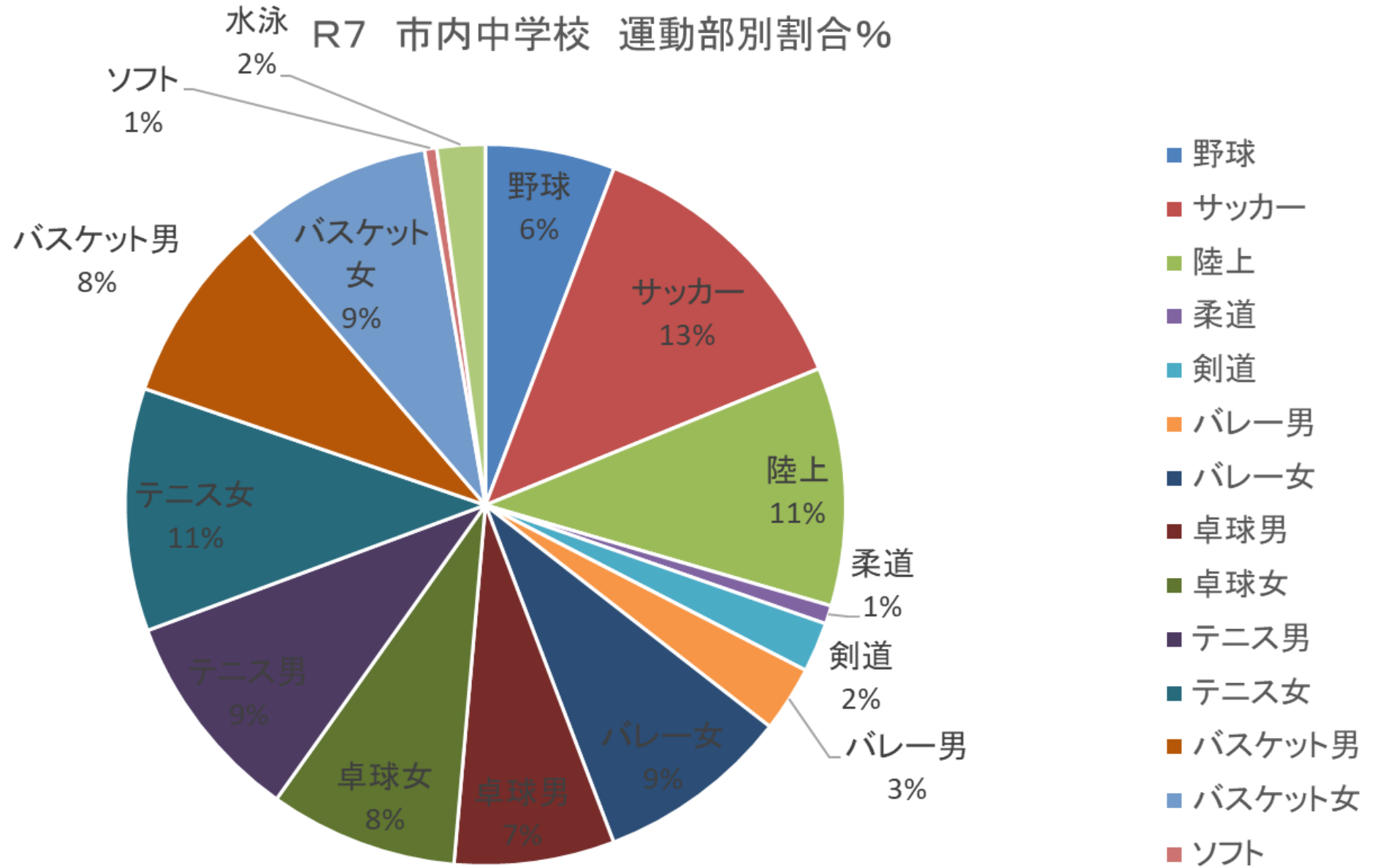
単独での  
チーム編成不可

部員0人

磐田スポーツ部活

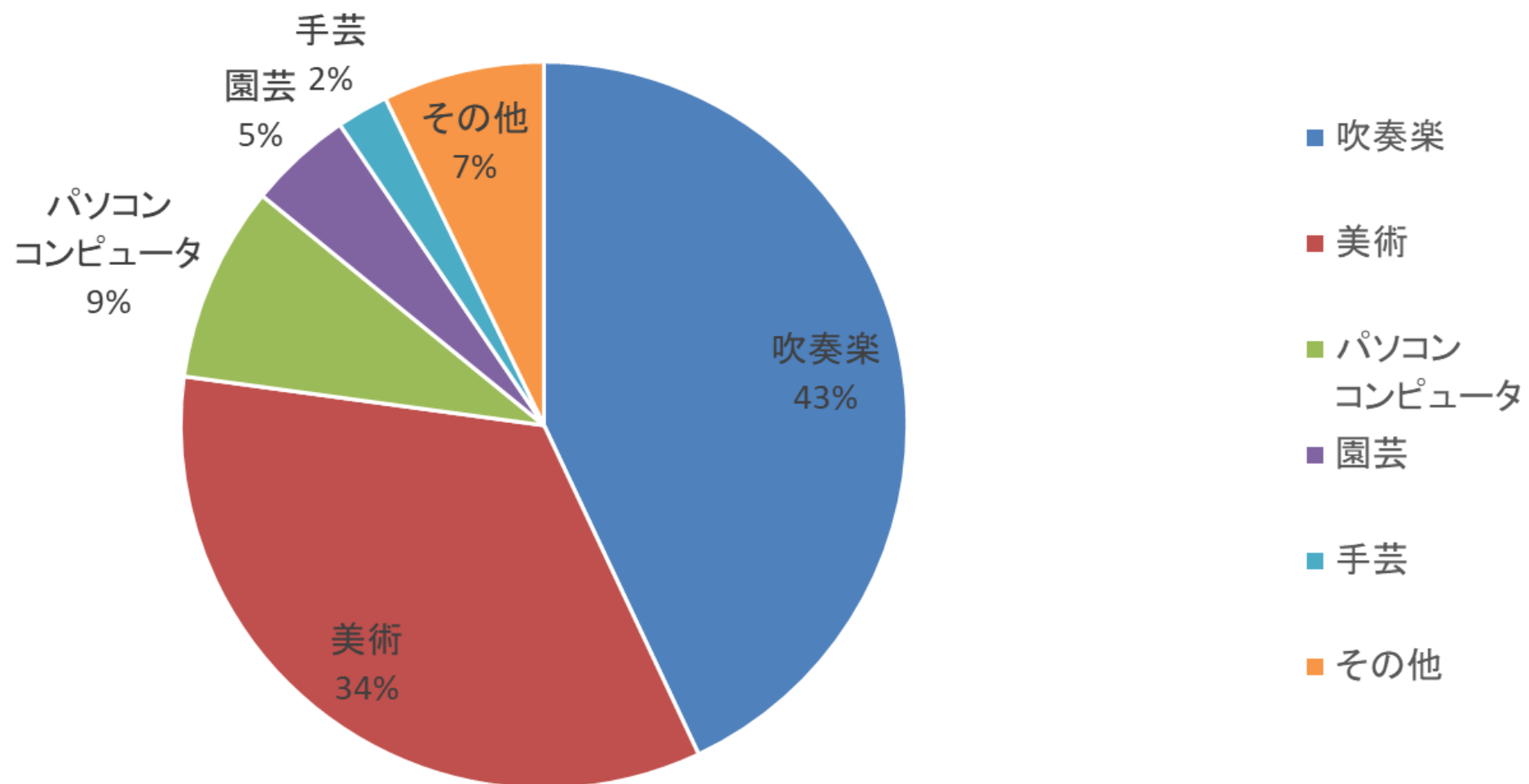


R7 市内中学校 運動部別割合%



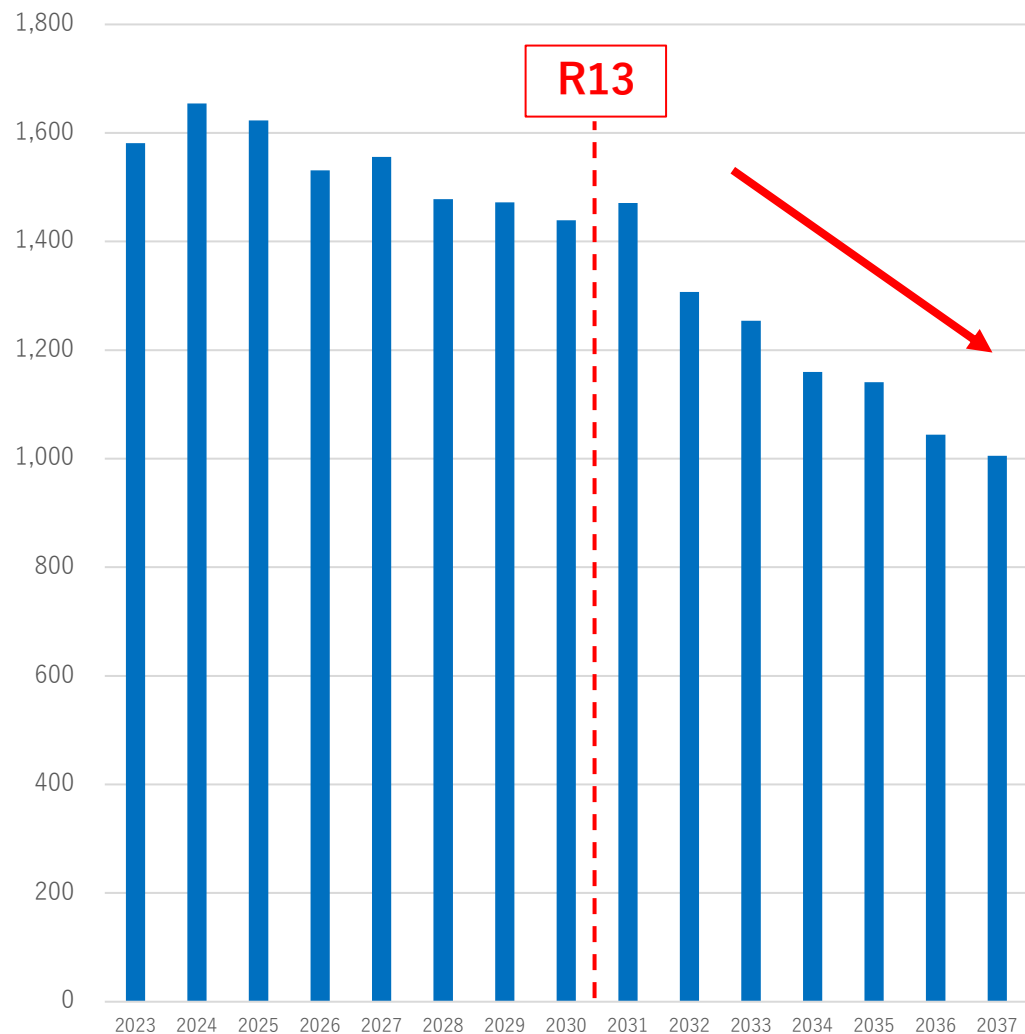


R7 市内中学校 文化部別割合%



## 人口予測

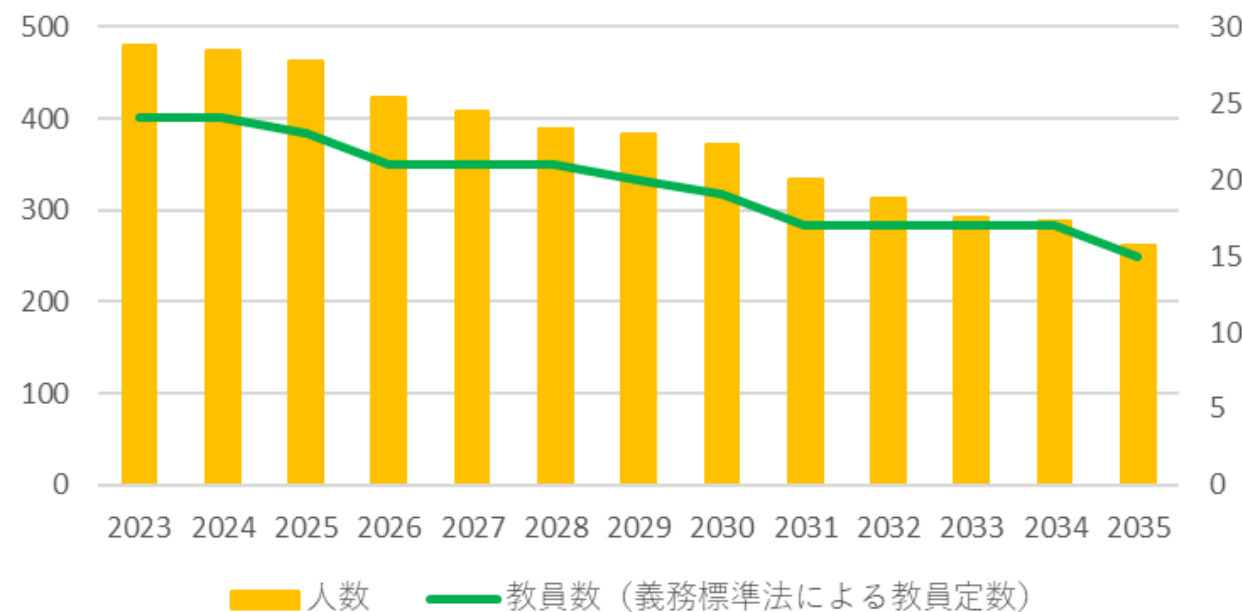
磐田市の中学3年生の人口（予測）



## 人口推移の傾向

- ・しばらくは微増微減の状態が続く
- ・9年後の2033年は20%減、13年後の2037年は37%減の見込み

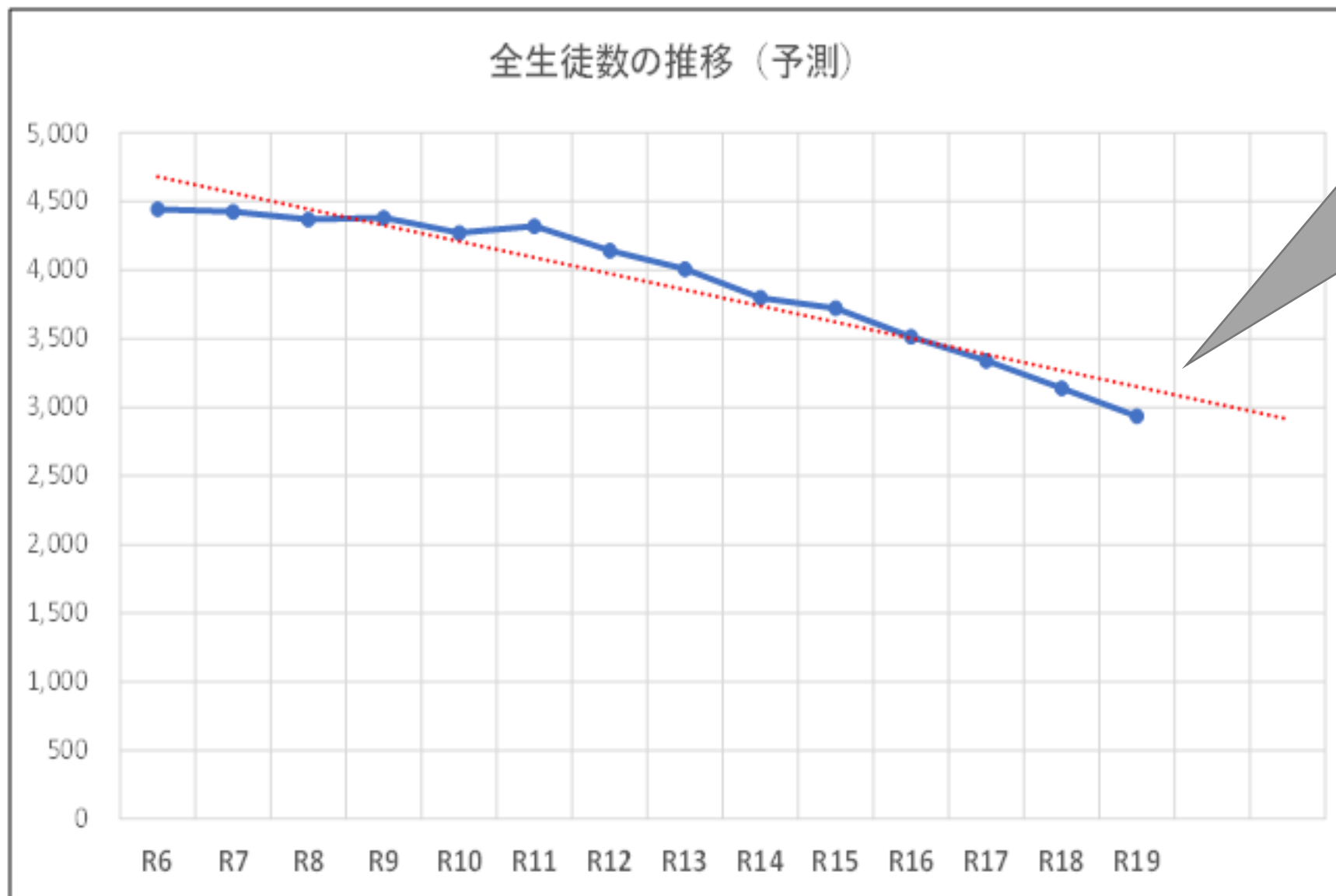
## R 中学校 生徒数・教員数 推計



2023年度  
14学級・480人

R中学校の場合  
6学級減・219人減

2035年度  
8学級・261人



現在より  
3割以上減少

部活動を取り巻く環境は  
一層困難さを増している・・・

# 【部活動の意義や、活動によって得られるもの】

- (1) **心身をリフレッシュ**させるだけでなく、**仲間とともに**自主的・自発的に行う活動が、生徒に**楽しさや喜び、やりがい**をもたらして、**学校生活をより豊かに充実**したものにすること。
- (2) **スポーツや文化、科学等の専門的な技能・知識**等を身につけて、生涯にわたってスポーツや文化、科学等に親しむ資質や能力、態度を育てること。（**体力の向上、健康の増進**）
- (3) **学級や学年を離れた集団**の中で、互いに**認め合い、励まし合い、高め合い**ながら自己の存在や責任を見つめて、**豊かな人間性や社会性**を育成すること。
- (4) **共通の目標に向かって努力する**過程を通して、**顧問と生徒、生徒同士の信頼関係**が深まり、教員にとっても生徒理解をより深めるための重要な機会であること。
- (5) **競技力の向上**や、**スポーツ・文化・科学等の普及・発展**に大きな役割を果たすこと。

J S P O 日本スポーツ協会 H P

私が考える『部活動』の教育的な価値（意義） より引用

<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/118923.pdf>

教育課程外とはいえ、中学生の心身の成長にとって  
これまで重要な役割を担ってきた活動であり  
これからも継承、発展させていかななくてはならない。



これからも持続可能な形で継続していくため  
に、部活動の地域展開が各地区で進んでいる

## 2 国の部活動地域展開の方向性

## 部活動改革に関する新たなガイドラインの策定までの経緯

- 令和6年8月～

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」における議論

- 令和6年12月18日      実行会議の中間とりまとめを公表

- 令和6年12月18日

～令和7年1月31日      関係団体への書面ヒアリング

- 令和7年5月16日      実行会議の最終とりまとめを公表

- 令和7年6月～

「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進等に関する調査研究協力者会議」における議論

- 令和7年10月30日      新たなガイドラインの骨子を公表

- 令和7年10月30日～11月13日      新たなガイドラインに関する意見募集を実施

- 令和7年12月22日      新たなガイドラインの本文を公表



# 学習指導要領における部活動に関する記載及び学習指導要領解説の見直し（R6.12）

## 中学校学習指導要領（平成29年告示）における記載 ※高等学校・特別支援学校についても、同様の記載

### 第1章 総則

#### 第5 学校運営上の留意事項

##### 1 教育課程の改善と学校評価，教育課程外の活動との連携等

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

## 学習指導要領解説の見直しの概要（R6.12）

### （1）学校と地域クラブとの連携等に関する記載の新設【総則編】 ※中学校・特別支援学校（中学部）

現行の部活動ガイドラインの記載に沿って、地域クラブ活動の位置付け（学校外の活動）や教育的意義等を明確化した上で、以下の内容を記載

- ① 学校と地域クラブとの間での活動方針等の共通理解を図る
- ② 特に、平日と休日で指導者が異なる場合、指導の一貫性を確保する観点から緊密に連携
- ③ 地域で実施されているスポーツ・文化芸術活動の内容等を生徒・保護者に周知

### （2）部活動の現状の位置付けの明確化【総則編】 ※中学校・高等学校・特別支援学校（中学部・高等部）

部活動は、法令上の義務として実施されるものではないことから学校の判断により実施しないこともあり、また、全ての生徒が一律に加入しなければならないものではなく、生徒の自主的・自発的な参加により行われるもの

### （3）部活動における多様な生徒・ニーズへの配慮【保健体育編】 ※中学校・高等学校

- ① レクリエーション志向の生徒や、運動が苦手な生徒、障害のある生徒など、どの生徒でも参加しやすい活動内容や活動時間等とするなどの工夫を実施
- ② 複数のスポーツや文化・科学分野等の様々な活動も含めて幅広く経験できるよう配慮

# 部活動の地域展開等に関する法律上の規定

## スポーツ基本法（令和7年改正）

（中学校の生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保）

- 第十七条の二 地方公共団体は、中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。以下この項において同じ。）の生徒の数の減少及びこれに伴う中学校の部活動の実施に係る状況を踏まえ、中学校の生徒が継続的に多様なスポーツに親しむことができるよう、地域の実情に応じて、学校、住民が主体的に運営するスポーツ団体（第二十一条及び第二十二条第一項において「地域スポーツクラブ」という。）その他の団体との緊密な連携の下に、中学校の生徒が地域においてスポーツに親しむ機会を確保するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。
- 2 国は、地方公共団体に対し、前項の施策の円滑な実施のために必要な助言、指導、経費の補助その他の援助を行うよう努めるものとする。

## 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律（附則）

（政府の措置）

- 第三条 政府は、令和十一年度までに、公立の義務教育諸学校等（給特法第二条第一項に規定する義務教育諸学校等をいう。以下同じ。）の教育職員（第一条の規定（給特法第二条第二項の改正規定に限る。）による改正後の給特法第二条第二項に規定する教育職員をいう。以下この項及び附則第五条において同じ。）について、一箇月時間外在校等時間を平均三十時間程度に削減することを目標とし、次に掲げる措置を講ずるものとする。
- 一～五 （略）
- 六 部活動の地域における展開等を円滑に進めるための財政的な援助を行うこと。
- 七 （略）
- 2 （略）

# 体罰等の禁止に関する法律上の規定

## 学校教育法

### 第一章 総則

第十一条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

## 体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について（通知）（平成25年3月13日）

### 1 体罰の禁止及び懲戒について

体罰は、学校教育法第11条において禁止されており、校長及び教員（以下「教員等」という。）は、児童生徒への指導に当たり、いかなる場合も体罰を行ってはならない。体罰は、違法行為であるのみならず、児童生徒の心身に深刻な悪影響を与え、教員等及び学校への信頼を失墜させる行為である。

### 5 部活動指導について

- (1) 部活動は学校教育の一環であり、体罰が禁止されていることは当然である。成績や結果を残すことのみに固執せず、教育活動として逸脱することなく適切に実施されなければならない。
- (2) 他方、運動部活動においては、生徒の技術力・身体的能力、又は精神力の向上を図ることを目的として、肉体的、精神的負荷を伴う指導が行われるが、これらは心身の健全な発達を促すとともに、活動を通じて達成感や、仲間との連帯感を育むものである。ただし、その指導は学校、部活動顧問、生徒、保護者の相互理解の下、年齢、技能の習熟度や健康状態、場所的・時間的環境等を総合的に考えて、適切に実施しなければならない。  
指導と称し、部活動顧問の独善的な目的を持って、特定の生徒たちに対して、執拗かつ過度に肉体的・精神的負荷を与える指導は教育的指導とは言えない。
- (3) 部活動は学校教育の一環であるため、校長、教頭等の管理職は、部活動顧問に全て委ねることなく、その指導を適宜監督し、教育活動としての使命を守ることが求められる。

## スポーツ基本法（令和7年改正後）

### （暴力等の防止）

第二十九条 国及び地方公共団体は、スポーツを行う者に対する、暴力、優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの、性的な言動（性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律（令和五年法律第六十七号）第二条から第六条までの罪に当たる行為を含む。）、インターネット上の誹謗中傷等（次項において「暴力等」という。）によりスポーツを行う者の環境が害されることのないよう、必要な措置を講じなければならない。

- 2 スポーツ団体は、その行う事業について、スポーツを行う者に対する暴力等によりスポーツを行う者の環境が害されることのないよう努めるものとする。



# 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要（趣旨・全体構成）

令和8年度から新たに「改革実行期間」がスタートすることを踏まえ、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図るため、**部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考え方を示すもの**

※公立中学校等が主な対象（「Ⅳ 学校部活動の在り方」については、国立・私立を含めた中学校及び高等学校等が対象）

## I 部活動改革の基本的な考え方・方向性

- 1 改革の理念
- 2 取組の類型・名称（地域展開・地域連携）
- 3 改革の方向性
  - （1）基本的方針
  - （2）改革期間及び取組方針（休日・平日）
  - （3）留意事項

## II 地域クラブ活動の在り方及び認定制度

- 1 地域クラブ活動の在り方
- 2 地域クラブ活動に関する認定制度 ※詳細は別冊資料①を参照
  - （1）趣旨
  - （2）想定される認定の効果
  - （3）認定制度の概要（認定要件・認定手続等）
  - （4）認定されていない地域クラブ活動の取扱い

## III 地域展開の円滑な推進に当たっての対応

- 1 推進体制の整備
  - （1）地方公共団体における体制整備
  - （2）国・都道府県・市区町村等・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担
  - （3）地域クラブ活動の運営団体・実施主体による生徒が所属する中学校等との連携
  - （4）関係団体等・大学・民間企業との連携
- 2 各種課題への対応
  - （1）運営団体・実施主体の整備等
  - （2）指導者の確保・育成
  - （3）活動場所の確保
  - （4）活動場所への移動手段の確保
  - （5）生徒の安全・安心の確保
  - （6）障害のある生徒の活動機会の確保
- 3 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参画促進等

## IV 学校部活動の在り方

- 1 適切な運営のための体制整備
  - （1）学校部活動に関する方針の策定等
  - （2）指導・運営に係る体制の構築
- 2 適切な指導及び安全・安心の確保
  - （1）暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶
  - （2）合理的かつ効率的・効果的な活動の推進
  - （3）競技ごとの指導手引きの普及・活用
- 3 適切な活動時間・休養日等の設定
- 4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

## V 大会・コンクールの在り方

- 1 生徒の大会等の参加機会の確保
- 2 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備
  - （1）大会等への参加の引率
  - （2）大会等の運営への従事
- 3 生徒の大会等の安全確保
- 4 全国大会をはじめとする大会等の在り方

## VI 関連する制度の在り方

- 1 教師等の兼職兼業
- 2 教師の人事における学校部活動の指導力の評価等
- 3 高等学校入学者選抜における学校部活動・地域クラブ活動の取扱い

## 別冊資料

- ①地域クラブ活動に関する認定制度（指導者登録制度を含む。）
- ②部活動の地域展開等に関する参考資料

# 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要（主な内容）

## 改革の 理念等

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展**させつつ、地域全体で支えることによる**新たな価値を創出**

## 【中間評価】

改革期間	令和5年度～7年度 「改革推進期間」	令和8年度～10年度 「改革実行期間」（前期）	令和11年度～13年度 「改革実行期間」（後期）
取組方針	休日	改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す ※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手 （中山間地域や離島等で地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を推進）  各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）  ※学校部活動をベースとした地域との連携など、地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要	
	平日		
認定制度	競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等のため、国が示す要件等に基づき、市区町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組みを構築  【呼称】「認定地域クラブ活動」 【想定される認定の効果】 公的支援（財政支援、学校施設の優先利用等）、大会・コンクールへの円滑な参加等 【主な要件】 活動時間（平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内） / 休養日（週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか） / 低廉な参加費 / 指導体制（日本版DBS活用を含めた不適切行為の防止徹底、指導者研修・登録等） / 安全確保 / 学校等との連携		
地域展開の円滑な推進に当たっての対応	推進体制	国としての取組方針の提示・地方公共団体への支援・周知広報等 / 都道府県のリーダーシップ / 市区町村等が改革の責任主体 / 専門部署の設置・コーディネーターの配置 / 生徒が所属する中学校等との連携 / 関係団体等・大学・民間企業との連携等	
	各種課題への対応	①運営団体・実施主体の体制整備等 ②指導者の確保・育成 ③活動場所の確保(学校施設の有効活用等) ④移動手段の確保 ⑤生徒の安全確保 ⑥障害のある生徒の活動機会の確保 ※6項目について具体的な取組内容等を整理	
	ニーズ反映・参画促進等	生徒等のニーズの把握・反映 / 地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等（体験会の開催、入学説明会等でのオリエンテーション、ポータルサイトなどによる一元的な情報提供等） / 生徒のクラブ運営等への参画（生徒同士の話し合いなど）	
部活動の在り方	●適切な運営のための体制整備（部活動に係る方針策定、部活動指導員等の配置や合同部活動の実施、勤務時間管理・業務改善等） ●適切な指導及び安全・安心の確保（暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶、事案発生時の迅速な対応・再発防止、過度な練習等の防止等） ●適切な活動時間・休養日等の設定 ●生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備		
大会等の在り方	●生徒の参加機会確保（地域クラブ活動等の参加促進等） ●大会等への引率や運営に係る体制整備（教師以外の関係者の参画促進等） ●生徒の安全確保（熱中症対策等） ●大会等の在り方の見直し（多様なニーズを踏まえた大会等の開催等）		
関連制度	従事を希望する教師等の兼職兼業の円滑化（中学校教師だけでなく小学校教師（体育専科等）や高校・特別支援学校の教師等を含む）、教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意、高校入試における取扱いなど		

2



# 地域クラブ活動に関する認定制度の概要

## 認定スキーム

- 国が示す認定要件等に基づき、市区町村等が認定を実施
- 地域クラブ側からの申請を受け、市区町村等において審査の上、認定  
認定後も、市区町村等が適切に指導助言等を実施



※国が示す認定要件に沿って、市区町村等が自ら運営する地域クラブ活動については、認定したものと同みなす  
※認定の有効期間は、最長3年間の範囲内で、地域の実情に応じて市区町村等において設定

## 認定要件

事項	主な内容
①活動の目的・理念	・学校部活動が担ってきた教育的意義の継承・発展、生徒の豊かで幅広い活動機会の保障（選抜等を行わず、参加を希望する生徒を幅広く受け入れることを含む）
②活動時間・休養日	・平日は1日2時間程度以内、休日は1日3時間程度以内 ・週2日以上休養日を設定（休日のみ活動する場合は、原則、土日どちらかを休養日に設定）
③参加費等	・活動の維持・運営に必要な範囲で可能な限り低廉な参加費等を設定（国が示す目安を踏まえる）
④指導体制	・暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の防止徹底（日本版DBSの活用を含む） ・市区町村等が定める研修を受講し、登録された指導者等による指導（※） （※）「認定地域クラブ活動指導者」登録制度を構築（研修メニュー例、登録要件・手続等、不適切行為への対応等について規定）
⑤安全確保	・生徒の健康状態や気温等を考慮した適切な活動、施設・設備等の点検、緊急時の連絡体制整備 ・怪我等を補償する保険及び個人賠償責任保険への加入（参加者及び指導者等）
⑥運営体制	・関係法令の遵守、規約等の作成・公表、公正かつ適切な会計処理、営利を主目的とせずに運営
⑦学校等との連携	・活動方針やスケジュール、生徒の活動状況等に関する情報共有

（※）円滑な実施の観点から、一定期間の経過措置を設ける（原則として令和8年度末まで）

## 想定される認定の効果（メリット）

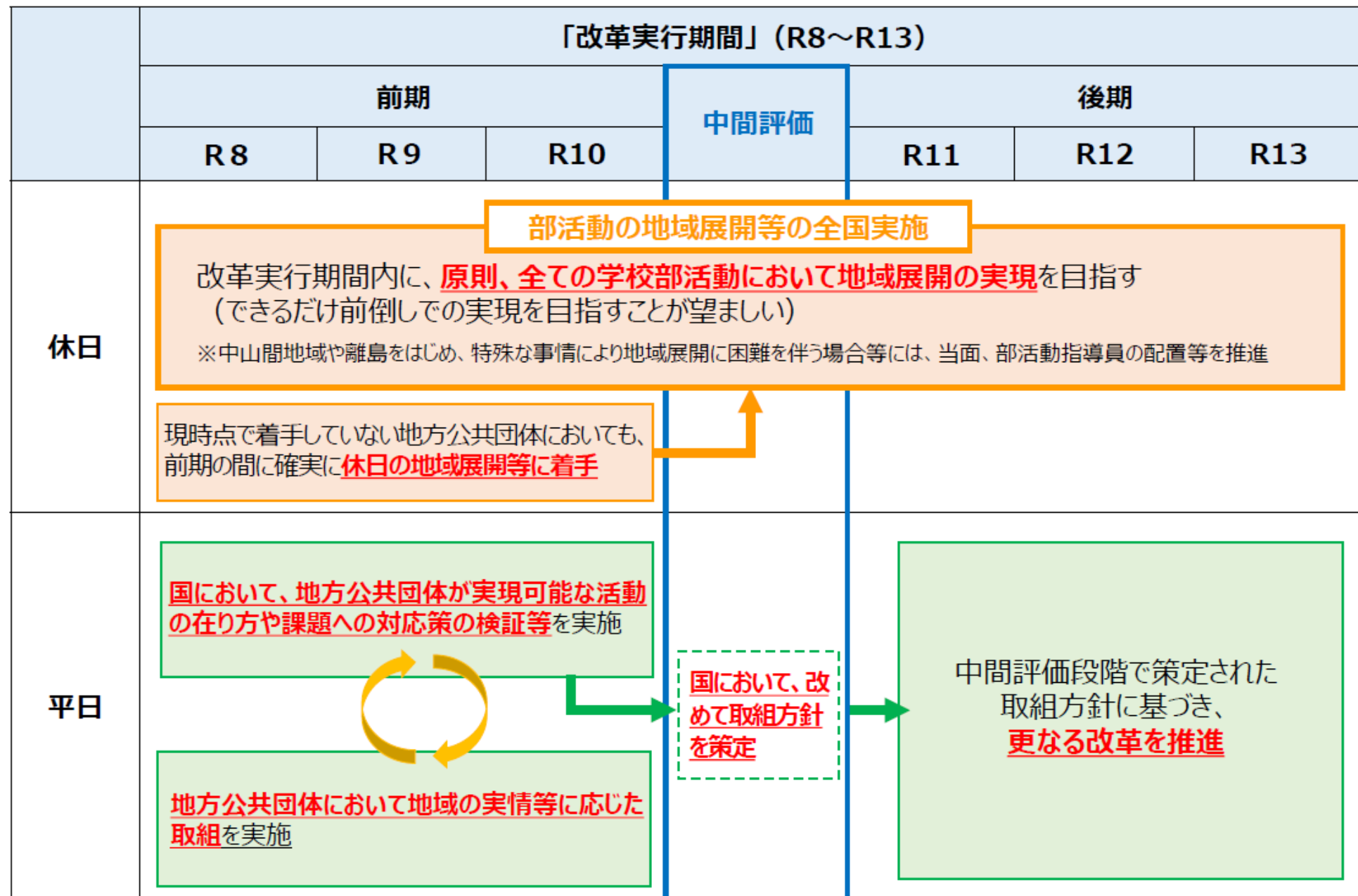
- ①生徒・保護者等に対する市区町村等による情報提供
- ②地域クラブ活動の運営等への公的支援（財政支援、学校施設等の優先利用・使用料減免、学校備品等の活用等）
- ③地域クラブ活動への従事を希望する教師等の兼職兼業
- ④生徒の大会・コンクールへの円滑な参加

## 地域クラブ活動において実現が期待される「新たな価値」の例

- 生徒のニーズに応じた**多種多様な体験**  
（複数の競技種目等に取り組むマルチスポーツや総合文化芸術、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）
- 生徒の**個性・得意分野**等の尊重
- 学校等の**垣根を越えた仲間**とのつながり創出
- 地域の様々な人や幅広い世代との**豊かな交流**
- 適切な資質・能力を備えた指導者による**良質な指導**
- 学校段階にとらわれない**継続的な活動**（引退のない継続的な活動）及び地域クラブ活動の指導者による**一貫的な指導** 等



# 「改革実行期間」(R8～R13)における部活動改革の方向性(全体像)



### 3 磐田市の部活動地域展開



磐田市 地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」

**SPO = SPORTS**

**CULTURE**

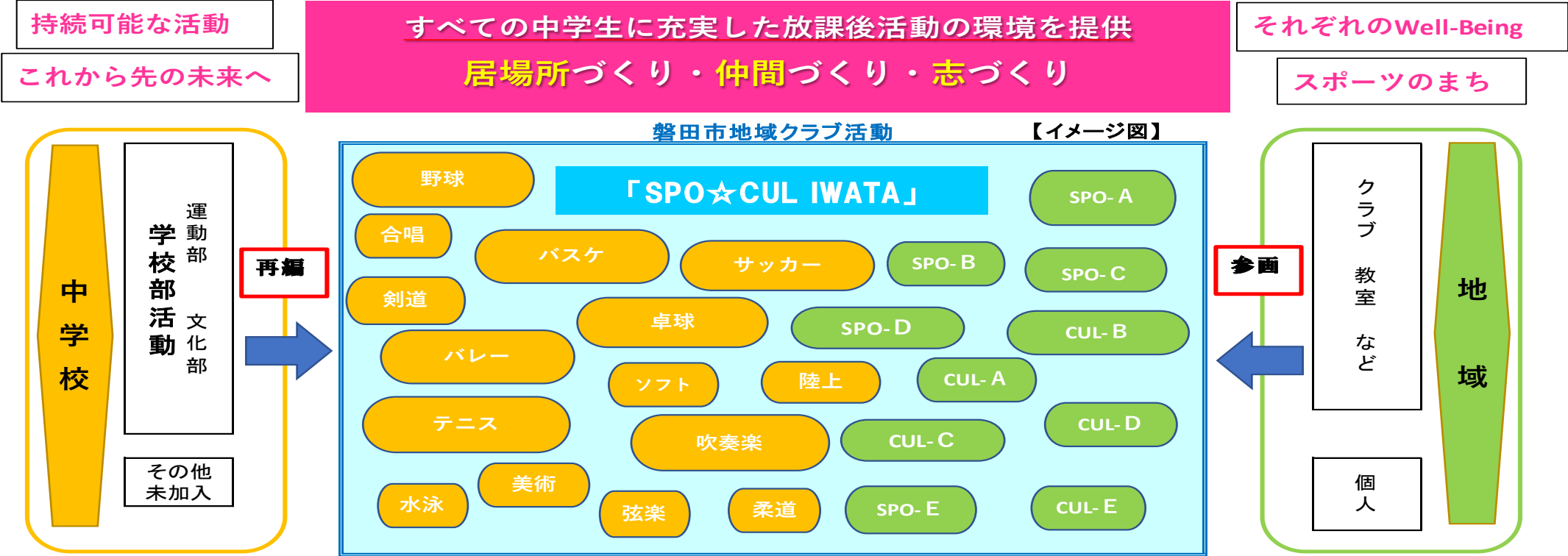
**スポーツ**

**CUL =**

**カルチャー**

磐田市の中学生を主な対象に、スポーツ、文化・芸術活動に取り組む環境を安定的・持続的に提供する、学校管理外の活動

部活動の地域移行（地域展開）の概要



磐田市地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」への移行スケジュール

	R5	R6	R7	R8	R9	R10.....R12	R13
SPO☆CUL	設立準備	休日 (一部)	休日 (一部平日も実施)	休日 (一部平日も実施)			休日 平日
中学校	部活動	SPO☆CULへの参加 (一部)		平日			

## 磐田市地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」活動理念



### 1 「SPO☆CUL IWATA」は、子どもたちの居場所づくり

- ・子どもたちが、自主的・自発的に参加し、スポーツや文化的活動に親しむことができる場を提供する。
- ・子どもたちが、安心・安全に活動できる環境を整える。

### 2 「SPO☆CUL IWATA」は、子どもたちの仲間づくり

- ・子どもたちが、集団の一員としてのよりよい資質を養うとともに、仲間との絆を深め、豊かな人間性や社会性を育む。
- ・子どもたちが、学校や保護者、地域の人々との連携と協働により、新たな人と出会い、つながりを深める。

### 3 「SPO☆CUL IWATA」は、子どもたちの志づくり

- ・未来に向け、志があり、思いやりと困難に負けない強い心をもつ「たくましい磐田人(いわたびと)」を育む。
- ・子どもたちの多様性を尊重し、持ち味や個性を育て、子どもたちの「道」を「夢」を「未来」をつくる。
- ・子どもたちの生涯にわたって芸術や創作活動、スポーツに親しむための基盤づくりを担う。
- ・子どもたちの学習意欲の向上や責任感、主体性、自己肯定感等の涵養に資する。

磐田市地域クラブ活動は、子どもたちが自分づくりや関係づくりを通して成長していく姿を目指します

## 磐田市の 部活動地域展開の概要

★令和 8 年夏季大会終了後（9 月）から休日は、学校は部活動なしとなります。

※順次、平日も移行を進めます。（遅くともR13までには完了を目指す。）

★部活動に代わる活動として、地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」を実施します。

★部活動の地域展開とは、管理、運営、実施の主体を学校から地域に移し、地域全体で支える新たな活動の創設です。

★SPO☆CULは、学校管理外の活動であり、SPO☆CUL加盟クラブが活動を実施し、教育委員会がそれを管理・運営します。

★学校部活動で行っている種目は、市内をいくつかのエリアにわけて、中学生が活動できる場（クラブ）を設けます。

## 来年度（R8）入学生に係る移行スケジュール



### 【平日・休日ともに】

#### 学校で部活動（今まで通り）

※休日は近隣の学校との合同活動を行うこともある

#### ※部活動で大会等へ参加

※近隣の学校と合同でチームを組み、大会等に出場する場合もある（人数不足等の場合）

### 【平日：学校がある日】

#### 学校で部活動

※地域クラブ活動に移行する部活もあるかも

### 【休日：学校が休みの日（土・日・祝）】

#### 自分の希望（計画）に沿って活動を選択

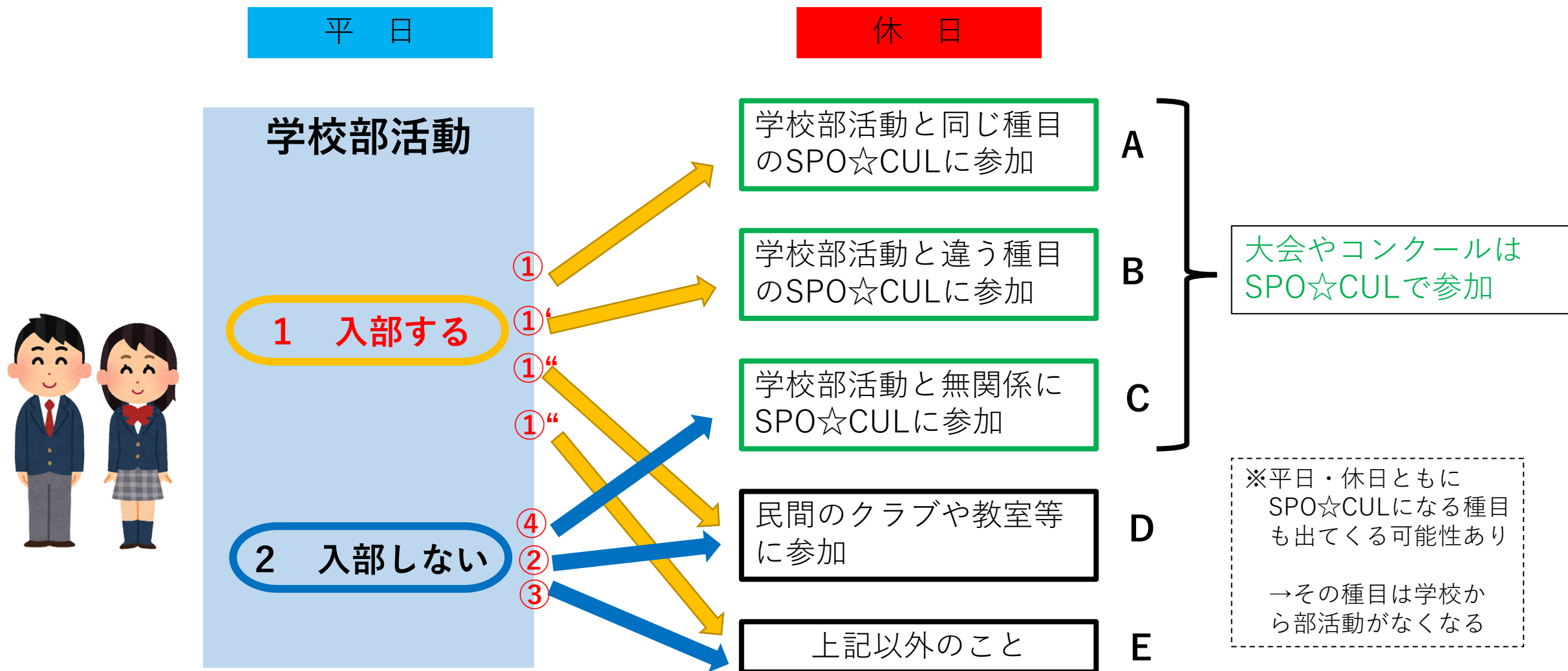
①希望する地域クラブ活動（SPO☆CUL IWATA）

に参加 ※参加クラブで大会等への参加

②自分の計画に沿って生活（学習、休息、習い事等）

R 8 年 9 月以降は、学校部活動に参加しているだけでは大会等に出場することはできません。  
大会に参加するためには、スポカルのクラブや民間のクラブに参加することになります。





# 12月時点での進捗状況（開設見込み状況）

種 目	クラブ設定	参加範囲	進捗状況
軟式野球 (男女)	野球クラブ①	豊岡中・向陽中	4エリアでの開設 見込み
	野球クラブ②	豊田中・豊田南中	
	野球クラブ③	一中・城山中・神明中	
	野球クラブ④	南部中・福田中・竜洋中	
ソフトボール (女)	ソフトボールクラブ	市内全域	市内で1つのクラブを 開設の見込み
バレーボール (男)	男子バレークラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中・竜洋中	案通りに開設見込み 平日も移行の見込み
	男子バレークラブ②	一中・城山中・神明中・南部中・福田中	
バレーボール (女)	女子バレークラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	設置クラブ数を3⇒2 に変更する可能性あり その場合はエリア再編
	女子バレークラブ②	一中・城山中・神明中	
	女子バレークラブ③	南部中・福田中・竜洋中	
ソフトテニス (男)	男子テニスクラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	設置クラブを3⇒2ま たは1に変更する可能 性あり
	男子テニスクラブ②	一中・城山中・神明中	
	男子テニスクラブ③	南部中・福田中・竜洋中	

種 目	クラブ設定	参加範囲	進捗状況
ソフトテニス (女)	女子テニスクラブ①	豊岡中・豊田中・豊田南中	設置クラブを4⇒2または1に変更する可能性あり
	女子テニスクラブ②	向陽中・神明中	
	女子テニスクラブ③	一中・城山中	
	女子テニスクラブ④	南部中・福田中・竜洋中	
卓 球 (男女)	卓球クラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	案通りの開設を目指し、指導者の増員を図っている
	卓球クラブ②	一中・城山中・神明中	
	卓球クラブ③	南部中・福田中・竜洋中	
バスケットボール (男)	男子バスケクラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	案通りに開設見込み
	男子バスケクラブ②	一中・城山中・神明中	
	男子バスケクラブ③	南部中・福田中・竜洋中	
バスケットボール (女)	女子バスケクラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	案通りの開設を目指し、指導者の増員を図っている
	女子バスケクラブ②	一中・城山中・神明中	
	女子バスケクラブ③	南部中・福田中・竜洋中	
サッカー (男女)	サッカークラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	案通りに開設見込み 平日も移行の見込み
	サッカークラブ②	一中・城山中・神明中	
	サッカークラブ③	南部中・福田中・竜洋中	

種 目	クラブ設定	参加範囲	進捗状況
剣 道（男女）	剣道クラブ	市内全域	エリアを 3 ⇒ 1 に
柔 道（男女）	柔道クラブ	市内全域	案通りに開設見込み
水 泳（男女）	水泳クラブ	市内全域	平日も移行の見込み 活動場所を検討中（屋 内プール等）
陸 上（男女）	陸上クラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	平日も移行の見込み 休日は陸上競技場で全 クラブによる活動
	陸上クラブ②	一中・城山中・神明中	
	陸上クラブ③	南部中・福田中・竜洋中	

種 目	1次案のクラブ設定	参加範囲	進捗状況
吹奏楽（男女）	吹奏楽クラブ①	豊岡中・向陽中・豊田中・豊田南中	設置クラブを 3 ⇒ 2 に 変更する可能性あり その場合はエリア再編
	吹奏楽クラブ②	一中・城山中・神明中	
	吹奏楽クラブ③	南部中・福田中・竜洋中	
弦楽（男女）	SPO☆CUL弦楽クラ ブ	市内全域	案通りに開設見込み
合唱（男女）	SPO☆CUL合唱クラ ブ	市内全域	案通りに開設見込み

R7  
活動中

種目	クラブ名	活動日	活動場所	活動費	参加対象	人数
ボクシング	竜洋ボクシングクラブ	日曜日 午後	クラブ練習場(なぎの木会館南)	なし	市内全域	1
バドミントン	SBC磐田バドミントンクラブ	日曜日	西貝交流センター	なし	市内全域	22
★剣道	スポカル磐田 剣道クラブ	土曜日	連盟道場(中央公園付近)	1,000円／月	剣道部がない学校	7
★サッカー	SPO☆CUL Southサッカークラブ	日曜日	磐田一中グラウンド他	なし	市内全域	14
★合唱	SPO☆CUL合唱クラブ	土曜日	城山中音楽室	なし	城山中以外の学校	0
★弦楽	SPO☆CUL弦楽クラブ	土曜日	竜洋中多目的ホール	1,000円／月	竜洋中以外の学校	3
▲吹奏楽	磐田ユースウインドオーケストラ	日曜日	市内交流センター他	1,200円／月	吹奏楽部所属生徒	9
ダンス	SPO☆CULダンスクラブ	土曜日又は日曜日	豊岡中央交流センター	なし	市内全域	24
将棋	SPO☆CUL将棋クラブ	水曜日	市内交流センター	なし	市内全域	8
プログラミング	Hero'sプログラミングclub	土曜日	Hero's福田校	3,300円／月	市内全域	11
極真空手	クラブ空手道極真館	月曜日	竜洋体育センター	なし	市内全域	1
空手	スポカル磐田 空手道クラブ	月・土	市総合体育館 磐田南小	なし	市内全域	5
ゴルフ	ふじゴルフ倶楽部	土曜日	インドアゴルフ磐田	なし	市内全域	5
トランポリン	たにぐちりょうへいトランポリンクラブ	土曜日	クラブ練習場(東平松)	1,000円／月	市内全域	6
女子ラクロス	SPO☆CUL女子ラクロスクラブ	日曜日	竜洋西小体育館他	1,000円／月	市内全域	4
カポエイラ	ROH CAPOEIRA	土曜日	市総合体育館	3,000円／月	市内全域	0
▲ソフトテニス女子	SPO☆CUL Kenyu	月・水	東大久保コート・加茂コート	2,000円／年	市内全域	31

★ 再編型クラブと統合予定  
▲ 検討中

R8開設予定	ラグビー	硬式テニス	フットサル	美術総合	茶道
--------	------	-------	-------	------	----



## SPO☆CUL 活動の様子①

---



ボクシング



サッカー



ゴルフ



ソフトテニス



吹奏楽



弦楽



ダンス





剣道



バドミントン



ラクロス



空手  
スポカル磐田  
空手道クラブ



将棋



トランポリン



空手  
クラブ空手道  
極真館



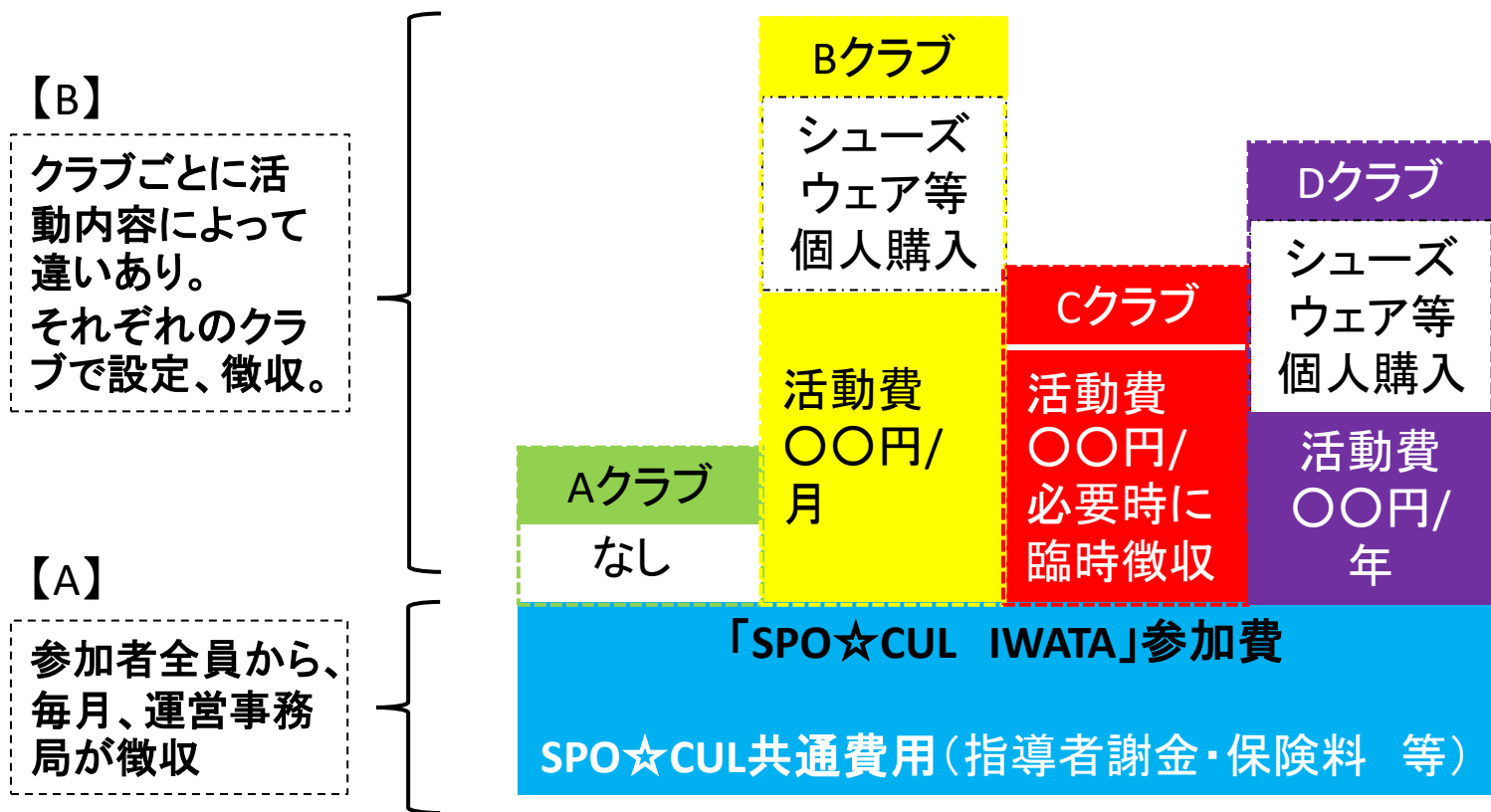
プログラミング



## 地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」の主な特徴

活動日	活動日、時間はクラブによって異なる（ガイドライン：休日3時間程度、平日2時間以内）。平日に部活動が残る種目は休日のみ活動する。
指導者	地域の指導経験や競技経験のある者。 年2回の教育委員会主催の指導者研修を受講して指導を行います。 （スポーツや文化団体、部活動指導員、外部指導者、指導を希望する教員など）
対象	市内在住の中学生（1～3年生）。 原則、3年生の7月までの活動。希望する生徒は中学卒業まで活動可能。
費用	<u>参加費2,000円／月（休日のみの場合）。</u> <u>※平日も実施するクラブは活動回数により加算。</u> クラブごとにボール代や消耗品などに使う活動費がかかる場合がある。
活動場所	小中学校施設、市公共施設、クラブ所有の施設。 活動場所までは各自で移動（自転車、送迎など）。
安全対策	地域展開により学校管理外の活動となるため、活動中のケガなどに備え、スポーツ安全保険に加入する（教育委員会事務局で手続きを行います）。徒歩、自転車等での活動場所への移動も保険の対象です。

# SPO☆CULに参加した場合の保護者負担イメージ



**【A】+【B】が保護者負担**

**【B】**

- ・活動費  
例) Aクラブ 0円  
Bクラブ 1,000円/月  
Cクラブ 5月、9月に2,000円  
Dクラブ 年間3,000円 等  
⇒用具、消耗品、チーム登録費、大会参加費 等

- ・個人の用具等  
⇒シューズ、ウェア、ラケット等

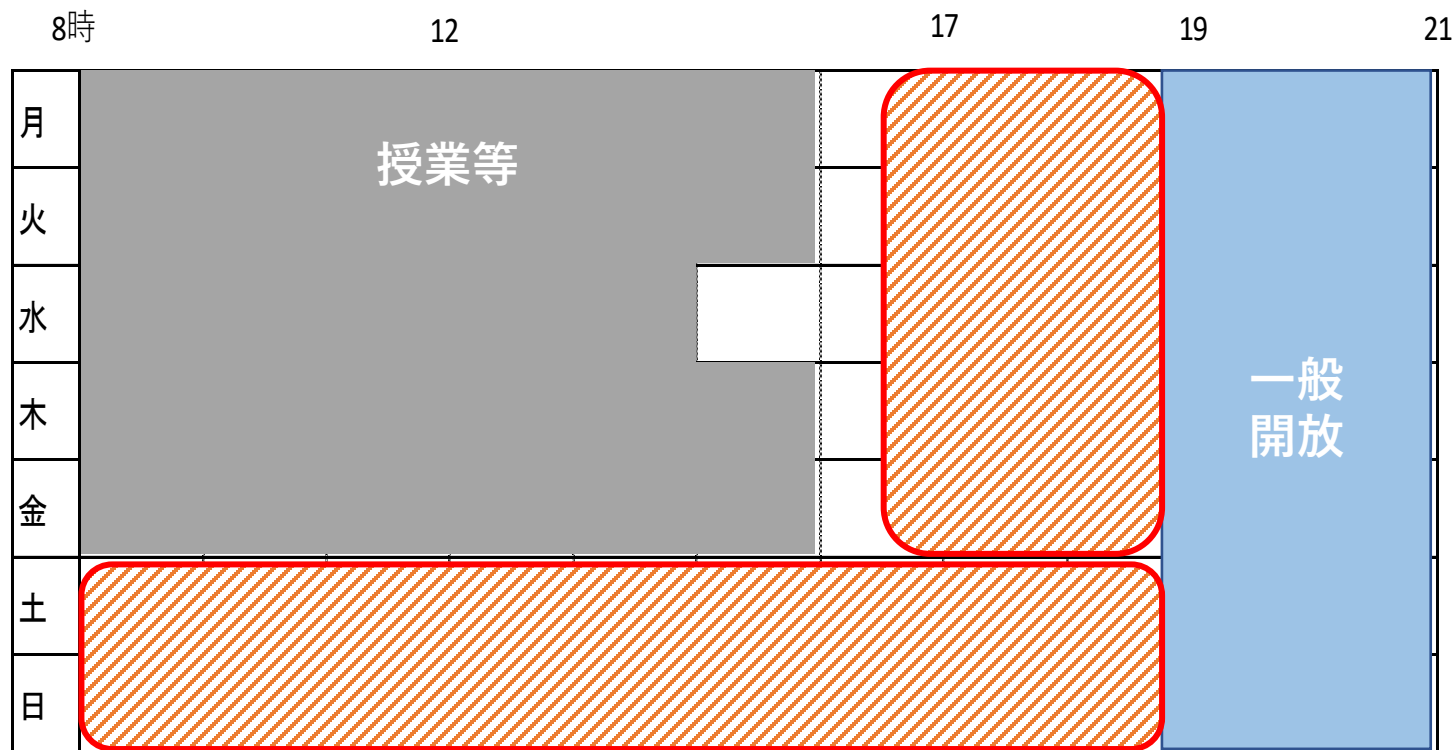
**【A】**

- ・参加費 2,000円/月  
⇒指導者謝金、保険料、連絡システム利用料

※経済的な理由から参加を迷う生徒（家庭）に対し、支援していくことも検討している。

→ 地域クラブ活動支援基金の創設検討（外部資金の獲得）

# 令和 8 年 9 月以降 部活動再編型クラブの活動時間イメージ



の時間を、SPO☆CULの活動として想定している。

## ○休日の地域クラブ活動

- ・ 8:00～19:00の間の活動を想定。  
これまで部活動として使っていた部分が空いてくるため、SPO☆CULで利用できる。
- ・ 1回 3 時間程度。土日どちらか 1 日は休養日。

## ○平日の地域クラブ活動

- ・ 16:30～19:00の間の活動を想定。  
学校施設を利用することを想定。
- ・ 活動場所への移動もあり、学校活動終了後から一定の時間が必要。
- ・ 1回2時間以内の活動、週3日以内。

# 今後の部活動改革 計画案 （特に部活動からの再編に係ること）

	部活動、部活動（再編）に係る動き	地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」
R6 年度	<p>種目別検討会（6・9・1月） 中学校長との意見交換会（8・11・2月） 新入学生への説明（動画配信、入学説明会） ニーズ調査</p> <p><b>3月 R8年度のSPO☆CULクラブ体制（再編）の1次案</b></p>	<p><b>SPO☆CUL IWATA活動開始</b></p> <p>新入学生への説明（動画配信、入学説明会）</p> <p>2月 SPO☆CUL見学・体験会（小6～中2対象） 3月 次年度継続参加受付</p>
R7 年度	<p>4月 新入生の部活動入部</p> <p><b>9月 SPO☆CUL（再編）指導者の募集 小6,中1対象 R8のSPO☆CUL事前入会調査</b></p> <p>新入学生への説明（動画配信、入学説明会）</p> <hr/> <p><b>11月～ R8年度のSPO☆CULクラブ体制に向けた種目別検討会</b></p> <p><b>3月 R8年度のSPO☆CULクラブ体制（再編）を決定</b></p>	<p>4月 SPO☆CUL新規参加者募集 5月 R7年度 活動開始（原則休日のみ、大会参加なし。） （以降、随時応募受付）</p> <p>新入学生への説明（動画配信、入学説明会）</p> <hr/> <p>2月 SPO☆CUL見学・体験会（小6～中2対象） 3月 次年度継続参加受付</p>
R8 年度	<p>4月 新入生の部活動入部 新2年生の部活継続確認</p> <p><b>4月 指導者配置の確認 5～6月 クラブ運営の準備</b></p> <p>7月 磐周大会参加</p> <p>（夏季休業中まで 学校部活動）</p> <p><b>9月～平日のみ部活動 休日はSPO☆CULへ</b></p>	<p>4月 SPO☆CUL新規参加者募集 5月 R8年度 活動開始</p> <p><b>6～7月 1,2年生対象に、9月からのSPO☆CUL（再編クラブ）申込受付</b></p> <p><b>9月 SPO☆CUL（再編クラブ）活動開始</b></p>

## 4 部活動地域展開の課題

## 地域展開の課題

- ・ 指導者の不足
- ・ 参加者の活動場所への移動
- ・ 費用負担増（受益者負担）
- ・ 活動場所の確保
- ・ 生徒の情報の共有
- ・ 大会等への参加
- ・ 活動財源
- ・ 連絡体制の構築
- ・ 怪我への対応、安全確保
- ・ 経済的困窮世帯への支援

- ・ 危機管理
- ・ トラブル等へ対応
- ・ 責任の所在
- ・ 指導者のワークライフバランス
- ・ 指導者の指導の質の向上
- ・ 活動過多による子どもの  
障害やコンプライアンス
- ・ 大会運営
- ・ 活動の広報
- ・ 地域クラブの認定の基準  
・・・など

## 5 おわりに

## 【募集要項】

項目	内容
職種	地域クラブ活動指導者
勤務地	磐田市内
仕事内容	<p>磐田市内の中学生対象の<u>地域クラブでの指導及び活動運営</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な練習内容等はクラブ・指導者に一任します。</li> <li>・大会参加申込、チーム登録、出欠確認・保護者への連絡（専用アプリを利用）等の事務</li> <li>・活動中のケガ等への緊急対応</li> </ul> <p>等</p>
勤務時間	<p>土日いずれか及び祝日 1日3時間程度 （平日 週3日以内 1回2時間以内） ※大会等で勤務時間が変動することがあります。</p>
応募資格	大学生以上
報酬	<p>土日祝 1回 4,800円 平日 1回 2,500円</p> <p>月ごとに支給</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事務局（市教委）の指導者研修会に参加していただきます。</li> <li>・1クラブに複数の指導者を配置します。</li> <li>・一括してスポーツ安全保険に加入します。</li> </ul>

## <補足>

### 【SPO☆CUL IWATA運営事務局】

- ・ SPO☆CUL IWATAは磐田市教育委員会放課後活動課が運営事務局となり、統括管理・運営をします。
- ・ 参加者募集、参加費徴収、保険手続き、報酬支給、指導者研修などを運営事務局で一括運営します。
- ・ 運営事務局⇄クラブ、クラブ⇄保護者の連絡（活動予定・出欠等の連絡）、参加費徴収は専用アプリを使います。
- ・ SPO☆CUL加盟クラブからの運営・活動に関する相談に、助言等の対応をします。



- ・ 来年9月のクラブ開設に向け、登録指導者と話し合い、活動場所・活動日・指導体制など、クラブ運営の準備を進めていきます。
- ・ 指導者について、引き続き募集しています。 ホームページの「募集要項」を参照し、応募フォームから登録をお願いします。

スポカルHP (NEW)  
はこちらから



市教委HP  
「磐田市の部活動改革」は  
はこちらから



応募フォームは  
はこちらから



一般の方



教職員の方



部活動指導員  
・ 外部指導者

※今後、見込み状況については変わってくることも考えられます。  
※3月には、来年9月の再編型クラブの詳細をお知らせする予定です。

# ご清聴ありがとうございました。

【参考】

- ・ J S P O 日本スポーツ協会 H P  
私が考える『部活動』の教育的な価値（意義）  
<https://www.japan-sports.or.jp/>
- ・ スポーツ庁 H P  
<https://www.mext.go.jp/sports/>



磐田市教育委員会 放課後活動課  
部活動地域移行推進グループ 土屋 悟  
Mail [jido-seisaku@city.iwata.lg.jp](mailto:jido-seisaku@city.iwata.lg.jp)